

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成23年9月29日(2011.9.29)

【公開番号】特開2008-293377(P2008-293377A)

【公開日】平成20年12月4日(2008.12.4)

【年通号数】公開・登録公報2008-048

【出願番号】特願2007-139667(P2007-139667)

【国際特許分類】

G 06 K 17/00 (2006.01)

【F I】

G 06 K 17/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成23年8月17日(2011.8.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

媒体に設けられた磁気ストライプに対して磁気ヘッドを接触させて磁気情報を書き込み/読み取る磁気記録装置において、

複数種類の磁気ストライプを磁気ヘッドで読み取った場合の読み出力が同一となるような書き込み電流値を磁気ストライプの種類ごとに格納する電流値格納手段と、

磁気ストライプの種類を示す情報に基づいて前記電流値格納手段に格納された電流値を磁気ヘッドに設定する設定手段とを設けたことを特徴とする磁気記録装置。

【請求項2】

媒体の識別情報を読み取る読み取り手段を備え、

前記読み取り手段により読み取った媒体の識別情報に基づいて磁気ストライプの種類を判断する請求項1記載の磁気記録装置。

【請求項3】

磁気ストライプの種類を判断する判断手段を備えた上位装置に接続され、

前記読み取り手段により読み取った媒体の識別情報を前記上位装置に送信し、前記判断手段で磁気ストライプの種類を判断した判断結果を受信する請求項2記載の磁気記録装置。

【請求項4】

磁気ストライプの種類を判断する判断手段を備え、

前記読み取り手段により読み取った媒体の識別情報に基づいて、前記判断手段で磁気ストライプの種類を判断する請求項2記載の磁気記録装置。

【請求項5】

前記電流値格納手段は、装置ごとに電流値の補正值を格納する補正值格納手段を備え、

前記設定手段により設定された電流値を、前記補正值格納手段に格納された補正值により補正する請求項1から4記載の磁気記録装置。

【請求項6】

前記媒体は冊子状媒体であり、

前記電流値格納手段は、前記冊子状媒体の頁ごとに電流値の補正值を格納する頁補正值格納手段を備え、

前記設定手段により設定された電流値を、前記頁補正值格納手段に格納された補正值により補正する請求項1から4記載の磁気記録装置。

【請求項 7】

前記媒体の識別情報は、抗磁力に関する情報又は顧客情報であることを特徴とする請求項1から6記載の磁気記録装置。